

STAR

ローダバケット

取説部品表

製品コード K56046

型 式 MLB2010

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

STAR

このたびは弊社製品を
お買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は本製品の正しい組付方法と簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みいただき十分理解され、本製品を最良の状態ですく安全に使用するためにご活用ください。
- お読みになったあともこの取扱説明書を必ず大切に保管し、分からない場合は理解されるまで十分お読みください。
- 本製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の営業所・販売店・農協（JA）にご注文ください。
- なお、品質・性能向上などの理由で、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容および写真イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げまたはお近くの販売店・農協（JA）またはサービス工場にご相談ください。
- 下記マークが付いた項目は、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。



⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。

取扱注意

その警告に従わなかった場合、製品の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足

その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目次

安全に作業をするために	2
本製品の使用目的について	7
アフターサービスについて	7
各部のなまえ	8
仕様表	8
組付ける前に	9
組付時の注意	9
適正締付トルク表	10
組付要領	11
操作方法	13
部品注文について	13
補修用部品の供給年限について	13
純正部品表	14
保守点検一覧表	18
トラブルシューティング	19

必ず読んでください



安全に作業をするために

- ローダバケットを安全に使用していただくために、ここに記載されている注意項目を必ず守ってください。
- 下記の注意項目を守らないと、死亡を含む傷害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。
- 道路走行・駐車・日常点検及び点検については、トラクタの「取扱説明書」に記載された注意事項も必ず守ってください。

一般的な注意

注意

ローダバケットを使用する前には必ず本書とすべての安全表示を熟知するまで読む

【守らないと】

傷害事故や、ローダやローダバケットの破損につながるおそれがあります。

注意

ローダバケットを他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に本書を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

傷害事故や、ローダやローダバケットの破損につながるおそれがあります。

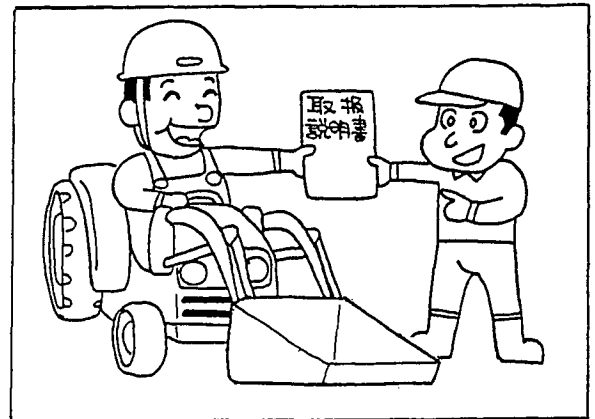
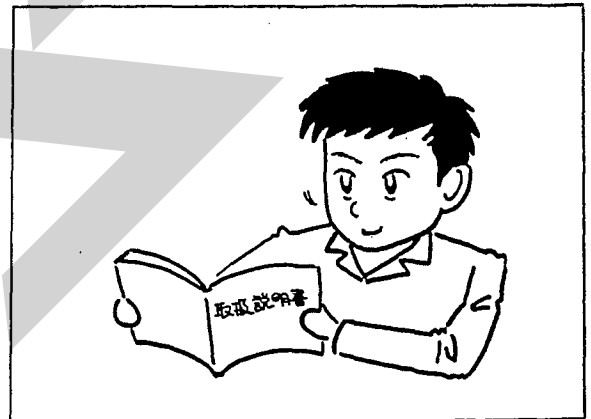
注意

ローダバケットの改造禁止

- 純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。
- 改造をしないでください。
- 適用ローダ以外のローダに取付けないでください。

【守らないと】

傷害事故や、ローダやローダバケットの破損につながるおそれがあります。



必ず読んでください

ローダ作業をする前に

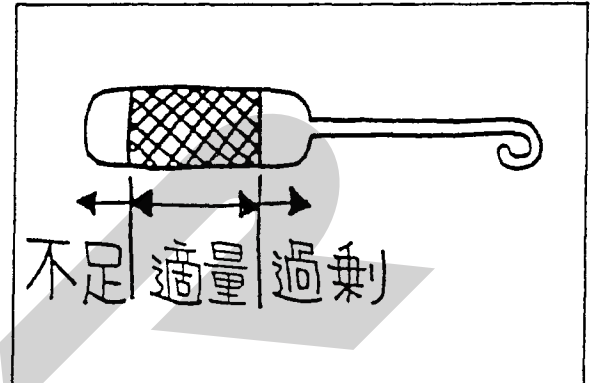
取扱注意

作動油を追加する

トラクタに準じた作動油を追加してください。

【守らないと】

ローダバケットが動かず、トラクタのポンプが故障するおそれがあります。



警告

旋回に注意

ローダバケットを取付けると全長が長くなりますので、旋回時は周囲の人や物に注意してください。

【守らないと】

人や物に衝突し、死亡を含む傷害事故となるおそれがあります。

注意

- ローダバケットの着脱は、硬くて平らな場所で行なう
- ローダバケットの可動部分に手足を入れない
- ローダバケットとローダの間に立たない

【守らないと】

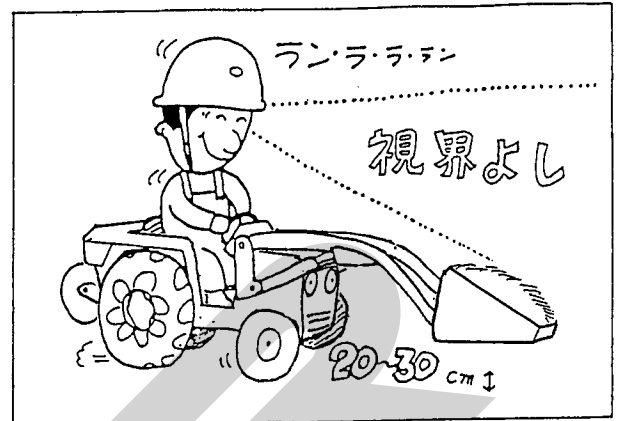
やわらかい地面上や坂道では着脱が難しくなります。

必ず読んでください

取扱注意

運転は安全運転で

- 運搬する場合はバケットの下面を地面から20~30cmの位置まで下げ、安全速度で走行してください。
 - 悪路・傾斜地・不整地では特に注意し、無理な運転はしないでください。
 - 不要なレバー操作はしないでください。
- 【守らないと】
ローダバケットが故障したり破損するおそれがあります。



取扱注意

- 操作レバーがストロークエンドになっている状態で無理な力を加えないでください。
- 運転中に修理・調整をしないでください。アームを接地させ、変速レバーや操作レバーを「中立」の位置にし、必ずエンジンを止めて駐車ブレーキをかけ、残圧を抜いてから行なってください。
- 最大荷重を越える荷の積載はしないでください。
- 橋など、走行場所の重量制限に十分注意してください。
- 誘導者と共同作業をするときは、誘導者の指示に従ってください。

必ず読んでください

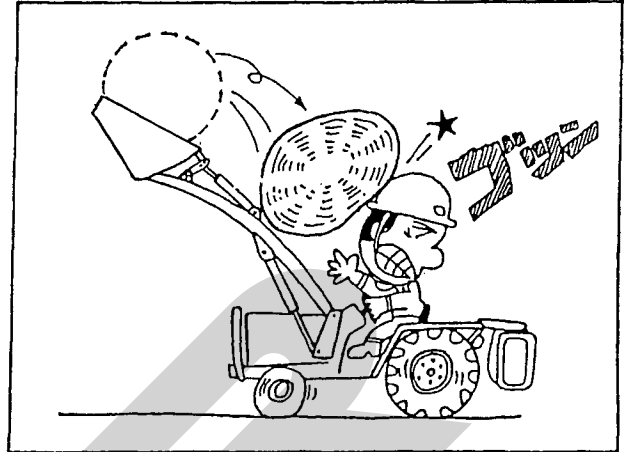
警告

ローダ作業には専用アタッチメントを使用する

●特にローダバケットでロールベールの運搬・積み込み作業をしないでください。

【守らないと】

荷くずれを起こして積荷が運転席に落下し死傷するおそれがあります。



注意

干草・牧草等の積付け・運搬以外の作業に使用しない

【守らないと】

傷害事故や、ローダやローダバケットの破損につながるおそれがあります。

注意

急作業・急操作はしない

●特に積荷状態では、急発進・急停止・急旋回・急ダンプ等はしないでください。

●積荷状態で、走行中または高い位置（地上 1500mm 以上）でのローダバケットの前傾・後傾操作はしないでください。

【守らないと】

傷害事故や、ローダやローダバケットの破損につながるおそれがあります。

一般道路走行について

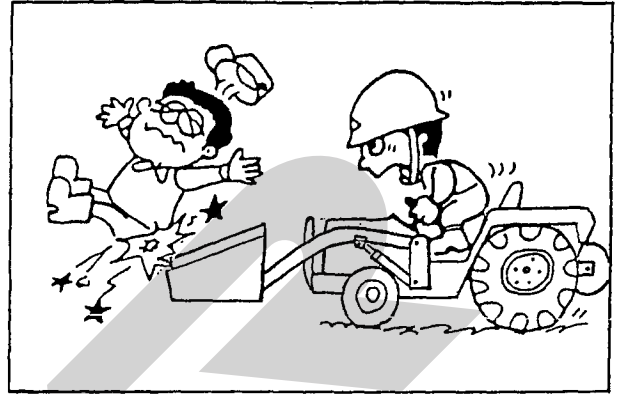
注意

ローダバケットを装着したまま公道を走行しない

公道を走行する時は、トラクタからローダ及びローダバケットを取りはずしてください。

【守らないと】

道路運送車両法に違反します。また傷害事故につながるおそれがあります。



その他

補足

- 格納する場合（長期間使用しない場合）
ローダバケットの全シリンダを最も縮めた状態にする。
- 長期間使用しない場合、再使用時に前と同じ性能を発揮させるためには、ローダバケットの保管・格納に十分注意する必要があります。
格納する場合は、乾燥した屋内に格納してください。
- やむをえず屋外に格納する場合は、雨のかからない、乾燥した平坦な場所を選び、できるだけシートをかけてください。
シートをかける場合は、必ず通気性を確保してください。
- 各部のピン・シリンダのピストンロッド等の露出部には、防錆グリースを塗ってください。

本製品の使用目的について

- (1) 本製品は、干草・牧草などの積付け・運搬に使用してください。
- (2) 本製品を上記の使用目的以外の作業に使用したり改造しないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんので注意してください。

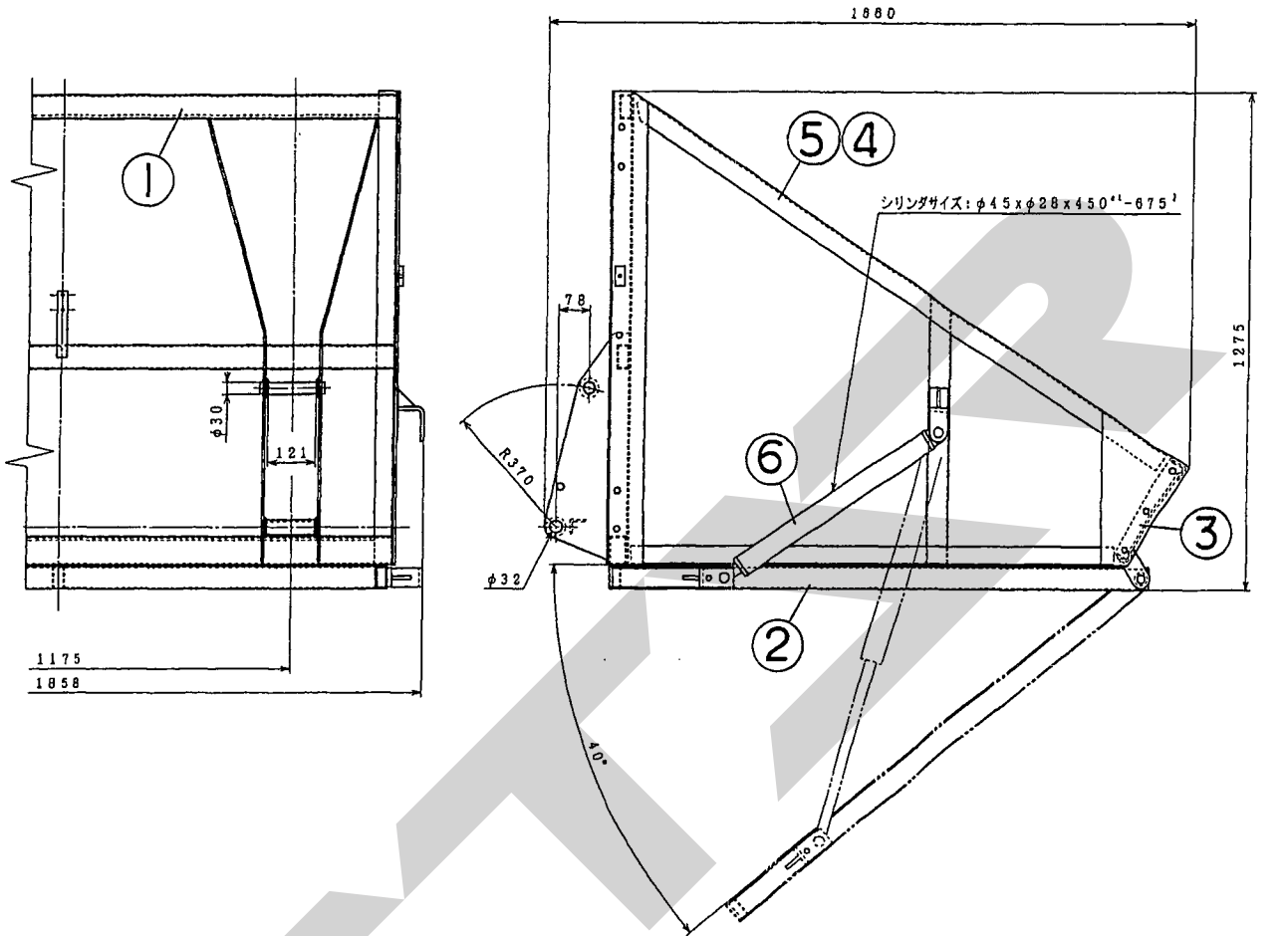
アフターサービスについて

本製品の調子が悪いときに、19ページの「トラブルシューティング」に従って点検・処置してもなお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店・またはサービス工場までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- (1) 型式名 : MLB2010
- (2) 製造番号 (機番)
- (3) 故障内容 (できるだけ詳しく)

各部のなまえ



- ① フレーム本体
- ② 底板
- ③ 前板
- ④ 側板左
- ⑤ 側板右
- ⑥ 複動シリンダ (左右各1本)

仕様表

型式		MLB2010
重量	(kg)	240
容量	(m ³)	1.7
全長	(mm)	1660
全幅	(mm)	1858
全高	(mm)	1275

- (注1) 牧草の重量は乾燥状態により異なりますので持ち上げにくい場合もあります。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。
- (注2) ロードバケットご使用の際には、油圧が1系統必要となります。ハイレックキット (別売) または外部油圧取出の準備が必要です。



組付ける前に

ローダバケットを安全に組付けていただくために、下記の注意事項を必ず守ってください。
下記の注意事項を守らないと、死亡を含む傷害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。

組付時の注意

- 平坦な場所にトラクタを移動させて、エンジンを止め、必ず駐車ブレーキをかけてください。
- 組付部品のサイズ・個数を確認してください。（「純正部品表」参照）
- スパナ・モンキー・メガネレンチ等の組付けに必要な工具類をそろえてください。
- バルブ・シリンダ・ホース等の油圧部品は、土やゴミを付着させたり、キズをつけないようていねいに取扱ってください。
- オーリングのはみ出し・欠落に注意してください。
- 継手のテーパネジ部には、必ずシールテープを巻いてください。
- 部品の形状詳細は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ホース・カプラ等は、同色のラベルのついたものどうしをつないでください。
- ホースは無理な曲げ・ねじれがかからない状態にして締付けてください。
- ホース先端金具（ユニオン部）は、全長 175mm程度のスパナ・モンキーを使用して締付けてください。（締め過ぎるとネジがつぶれ、油もれの原因となります）

警告

- ローダバケットを組付ける前には必ずこの組付要領を熟知するまで読んでいただき、安全に正しく組付けてください。
- 組付けの際は、ヘルメットや安全靴等の安全具を必ず着用してください。
- 作業を始めるときは、作業範囲の前後・左右・上下の安全を十分に確認してください。
- ローダバケットの着脱は、硬くて平らな場所で行なってください。

【守らないと】

傷害事故につながるおそれがあります。

警告

- アームを上げエンジンをかけた状態でホースや油圧配管をゆるめないでください。
- アーム及びローダバケットの下や作業範囲内には入らないでください。

【守らないと】

アームが急降下してアームの下敷きになる等、死亡事故となるおそれがあります。

適正締付トルク表

ローダバケットの組付・点検・修理などを行なう場合、ボルト・ナットは規定の締付トルクで締付けてください。〔下表／単位は上段：N・m（下段：kgf・cm）〕

- 注意** 1. ボルトの材質は、ボルトの頭に打刻してある数字で見分けます。
注意 2. 締付ける前に必ず打刻数字を確認し、下表に従って締付けを行なってください。
注意 3. 組付面や組付けのボルト・ナット・座金には油をつけないでください。

呼び	並目ネジ			細目ネジ		
	4 T (4.6又は4.8)	7 T・8 T (8.8)	10 T(10.9) 11 T(12.9)	4 T (4.6又は4.8)	7 T・8 T (8.8)	10 T(10.9) 11 T(12.9)
M 6	7.35 ~8.63 (75 ~ 88)	8.34 ~9.81 (85 ~100)	10.8 ~12.7 (110 ~130)	—	—	—
M 8	17.7 ~20.6 (180 ~210)	20.6 ~23.5 (210 ~240)	26.5 ~30.4 (270 ~310)	17.7 ~20.6 (180 ~210)	23.5 ~27.5 (240 ~280)	29.4 ~34.3 (300 ~350)
M10	35.3 ~41.7 (360 ~425)	40.2 ~47.1 (410 ~480)	52.0 ~60.8 (530 ~620)	39.2 ~45.1 (400 ~460)	48.1 ~55.9 (490 ~570)	60.8 ~70.6 (620 ~720)
M12	61.8 ~72.6 (630 ~740)	70.6 ~81.4 (720 ~830)	91.2 ~107 (930~1090)	62.8 ~72.6 (640 ~740)	77.5 ~90.2 (790 ~920)	103 ~118 (1050~1200)
M14	98.1 ~116 (1000 ~1180)	112 ~131 (1140 ~1330)	144 ~170 (1470 ~1730)	108 ~126 (1100 ~1280)	124 ~147 (1260 ~1500)	167 ~196 (1700 ~2000)
M16	154 ~180 (1570 ~1840)	174 ~203 (1770 ~2070)	226 ~265 (2300 ~2700)	167 ~191 (1700 ~1950)	196 ~226 (2000 ~2300)	260 ~304 (2650 ~3100)
M18	219 ~248 (2160 ~2530)	239 ~279 (2440 ~2850)	310 ~365 (3160 ~3720)	245 ~284 (2500 ~2900)	275 ~319 (2800 ~3250)	343 ~402 (3500 ~4100)
M20	300 ~352 (3060 ~3590)	339 ~397 (3460 ~4050)	439 ~517 (4480 ~5270)	333 ~392 (3400 ~4000)	368 ~432 (3750 ~4400)	490 ~569 (5000 ~5800)

- 注意** 4. ホース先端金具（ユニオン部）は、全長 175mm程度のスパナ・モンキーを使用して規定の締付トルクで締付けてください。〔下表〕
 締め過ぎますとネジがつぶれ、油もれの原因となります。

ネジサイズ	1/8	1/4	3/8	1/2	3/4	1/1
推奨トルク（上段：N・m） （下段：kgf・cm）	9.8 (100)	24.5 (250)	49.0 (500)	58.8 (600)	118 (1200)	137 (1400)

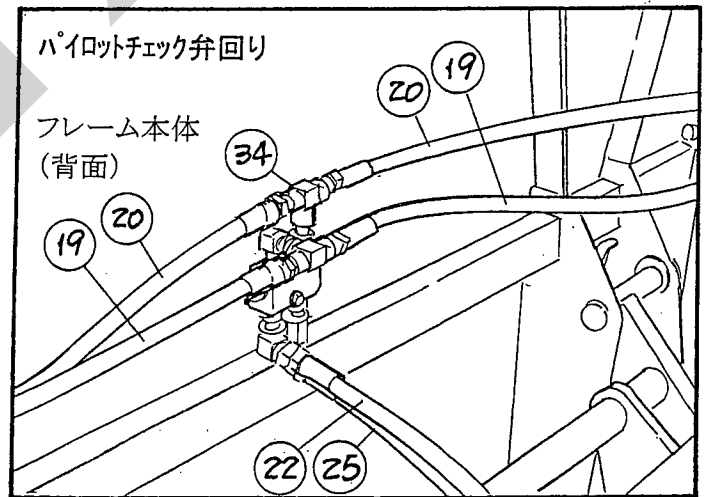
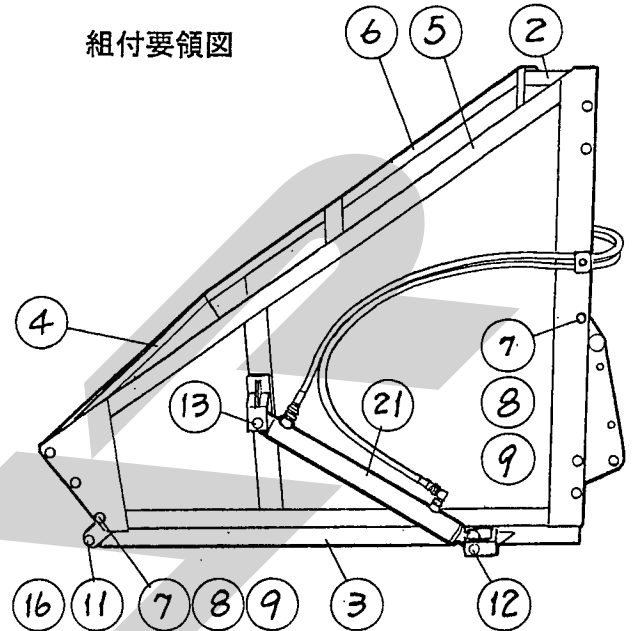
組付要領

(12ページ図参照)

- (1) フレーム本体 ② を起こす。
 - (2) このフレームに、側板 ⑤ ⑥ を取付ける。
取付部品 : ⑦ ⑧ ⑨
 - (3) ⑤ ⑥ 前部を、前板 ④ でつなぐ。
取付部品 : ⑦ ⑧ ⑨
 - (4) ローダ (アーム部) のスナップヒッチを
② にひっかけ、少し持ち上げる。
 - (5) アームのリフトシリンダのストップバルブを右いっぱい締め込む。
(アームの落下防止)
 - (6) 前板 ④ に底板 ③ を取付ける。
取付部品 : ⑪ ⑫
 - (7) ③ と ⑤ 及び ③ と ⑥ の間に、
複動シリンダ ⑫ を取付ける。
取付部品 : ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
- 注意** シリンダのポート・ロッドエンド部のグリッスニプルが外側へ向く様組付けてください。
- (8) フレーム本体 ② に、パイロットチェック弁 ⑳ を取付ける。
取付部品 : ㉑ ㉒ ㉓
 - (9) パイロットチェック弁 ⑳・シリンダ ㉔
間をホースでつなぐ。
取付部品 : ㉕ ~ ㉙

注意 継手とホースをつなぐ場合、同色のラベルのついたものどうしをつないでください。

組付要領図



(10)側板 ⑤ ⑥ にホースクランプ ③① を取付け、ホース ①⑨ ②② をこのホースクランプで固定する。

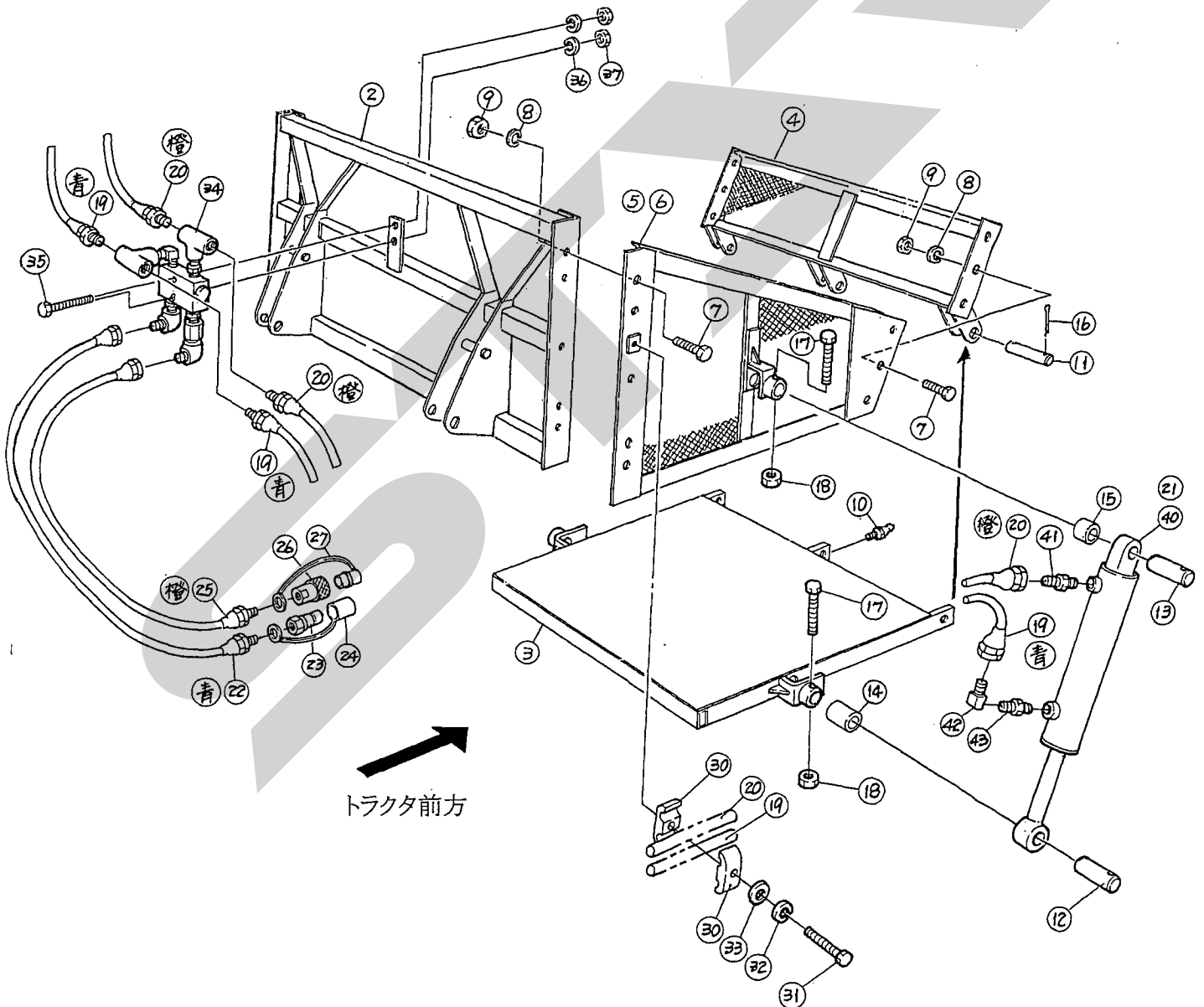
取付部品 : ③① ③② ③③

(11)パイロットチェック弁下部のポート(④⑨ ④⑩)にホース ②⑤ ②② をつなぐ。

(12)ローダ (アーム部) のスナップヒッチに、アタッチ止めピンを差し込む。

(13)ホース ②⑤ ②② を「ハイレックキット」のバルブにつなぐ。(カプラをつなぐ)

注意 「ハイレックキット」は、オプション (別売) となっていますので、別途ご購入ください。また、「ハイレックキット」の組付けについては、「ハイレックキット」に同梱している「取扱説明書」をお読みください。



操作方法

- (1) エンジンをかける。
- (2) 干草・牧草などをバケットに積み込む。
- (3) バケットを任意の位置に移動させる。
- (4) 1本レバーを後（前）に倒す。————→ リフトアームが上昇（下降）する。
1本レバーを右（左）に倒す。————→ バケットが前後方向に前傾（後傾）する。
- (5) グリップの「スイッチ」を押しながら、
1本レバーを右（左）に倒す。————→ 底板が開く。（閉じる）

注意 操作方法詳細については、ローダの「取扱説明書」及び「ハイレックキット」の「取扱説明書」をお読みください。

部品注文について

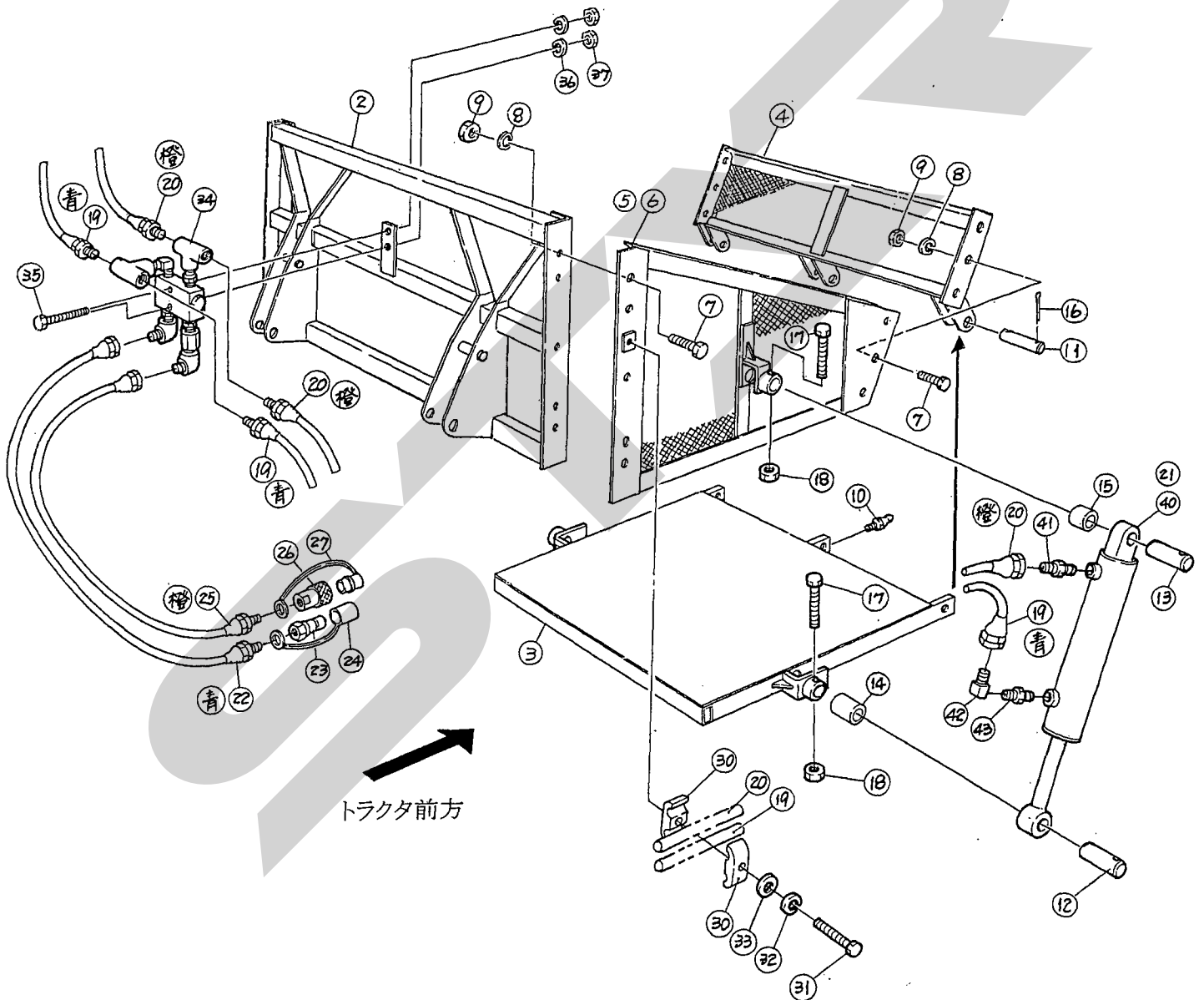
1. 部品注文の場合
 - ① 部品ご注文の際は、型式・機番・部品コードNo.・部品名・個数をご連絡ください。
 - ② 部品番号欄中、—印のマークがある場合は、単体販売できませんので、それに該当する完備部品をご注文ください。
2. 故障した場合
組立順に図解していますので、分解組立の参考にしてください。
3. 故障診断の場合
サービスマンが、この表を見ながら診断しますので、機械と一緒にお見せください。
4. 本部品表は、改良のため予告なく変更することがあります。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品表

FIG. 1 ローダバケット

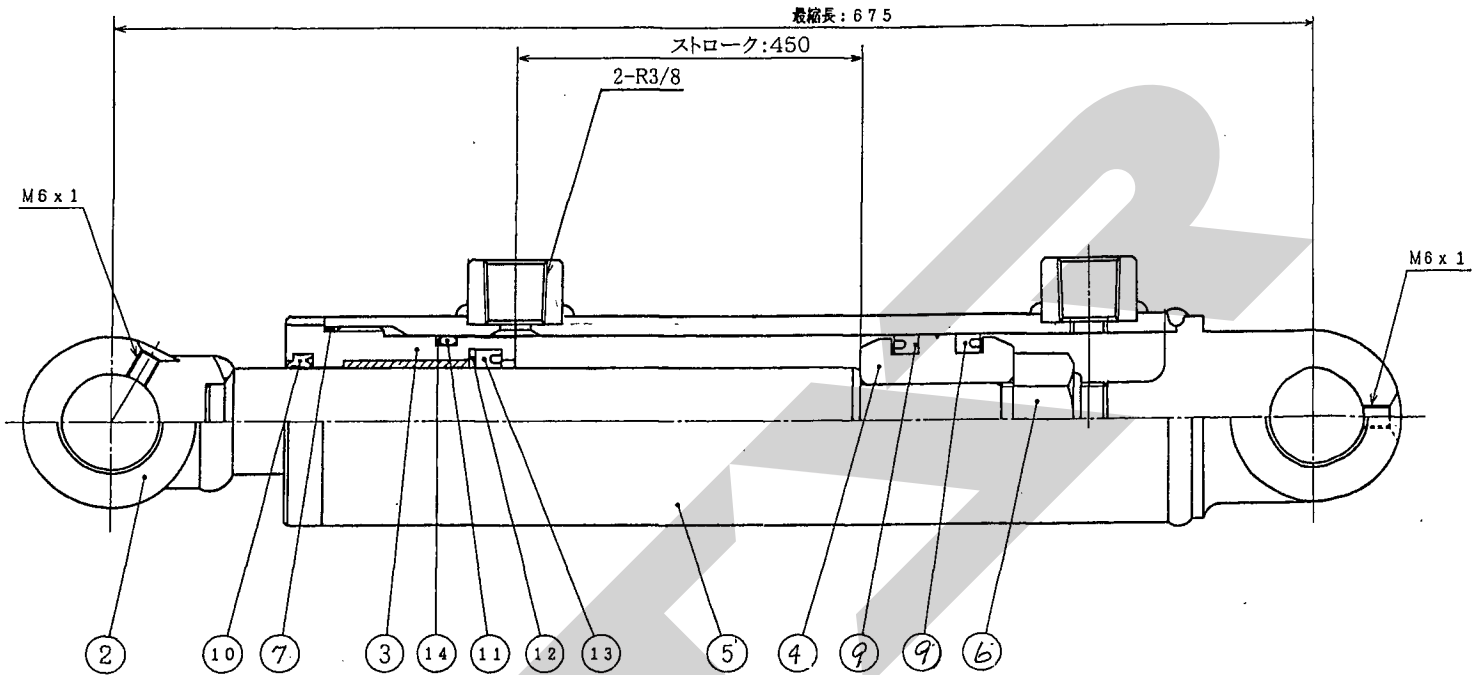


TAB. 1 ローダバケット

図番	部品コードNo.	部 品 名	個数	摘 要
1	B10001200-1	ローダバケットアッシ	1	No. 2 ~46
2	B10001196-1	フレームホントイ	1	
3	B10001199-1	ソコイタ	1	
4	45985-0400-3	マエイタ	1	7500HB
5	B10001197-1	ソクバンヒダリ	1	
6	B10001198-1	ソクバンミギ	1	
7	11053-51430	ボルト	16	M14x2.0x30
8	14512-50140	バネザガネ	16	M14用(t3.5)
9	12053-50144	ナット	16	M14x2.0
10	16611-15610	グリスニップル	3	A-MT6x1
11	45985-0800-1	ピンA	3	φ22x 70(全長)
12	B10001187-1	ピン	2	φ25x110(全長)
13	B10001188-1	ピン	2	φ25x 98(全長)
14	B10001189-1	カラー	2	φ42.7x26
15	B10001191-1	カラー	2	φ42.7x17
16	15511-50545	ワリピン	6	φ5x45
17	11153-50850	ボルト	4	M8x1.25x50
18	12403-11080	ユーナット	4	M8x1.25
19	29063-62350	ナイロンホース(9x2350x210)	2	メスG3/8xオスR3/8(青)
20	29063-61925	ナイロンホース(9x1925x210)	2	メスG3/8xオスR3/8(橙)
21	B10001201-1	フクドウシリンダアッシ	2	No.40~46(W41L-01)
22	29003-51750	ゴムホース(9x1750x210)	4	メスG3/8xオスR3/8(青)
23	25001-51033	カプラオス	1	3/8
24	25001-61033	カプラキャップオス	1	3/8 オス用
25	29003-51750	ゴムホース(9x1750x210)	4	メスG3/8xオスR3/8(橙)
26	25001-11033	カプラメス	1	3/8
27	25001-21033	カプラキャップメス	1	3/8 メス用
28	29601-0780-0	ホースクランプ	1	S字形 (図欠)
29	29610-50270	ジュシバンド	10	270mm (図欠)
30	29601-00200	ホースクランプ	4	カモメ形(9x9)
31	11153-50845	ボルト	2	M8x1.25x45
32	14512-50080	バネザガネ	2	M8用(t2.0)
33	14015-00800	ヒラザガネ	2	M8用(t1.6)
34	B10001202-1	パイロットチェックベンアッシ	1	PCV2101-003
35	11053-50645	ボルト	2	M6x1.0x45
36	14512-50060	バネザガネ	2	M6用(t1.5)
37	12013-50064	ナット	2	M6x1.0
38	A10000078-1	メーカーラベル	1	STAR (図欠)
39		トリアツカイセツメイショ	1	本書 (図欠)
40	D10001259-1	フクドウシリンダ	2	φ45xφ28x450STx675MIN(W41L)
41	25011-02533	ホースニップル	2	G3/8xR3/8
42	25012-12533	ホースエルボメス	2	R3/8xR3/8
43	25136-15330	シボリツキニップル	2	R3/8xR3/8
44	16611-15610	グリスニップル	4	A-MT6x1 (図欠)
45	A10000058-1	カラーリング	2	3/8(青) (図欠)
46	A10000059-1	カラーリング	2	3/8(橙) (図欠)

FIG. 2 シリンダ詳細

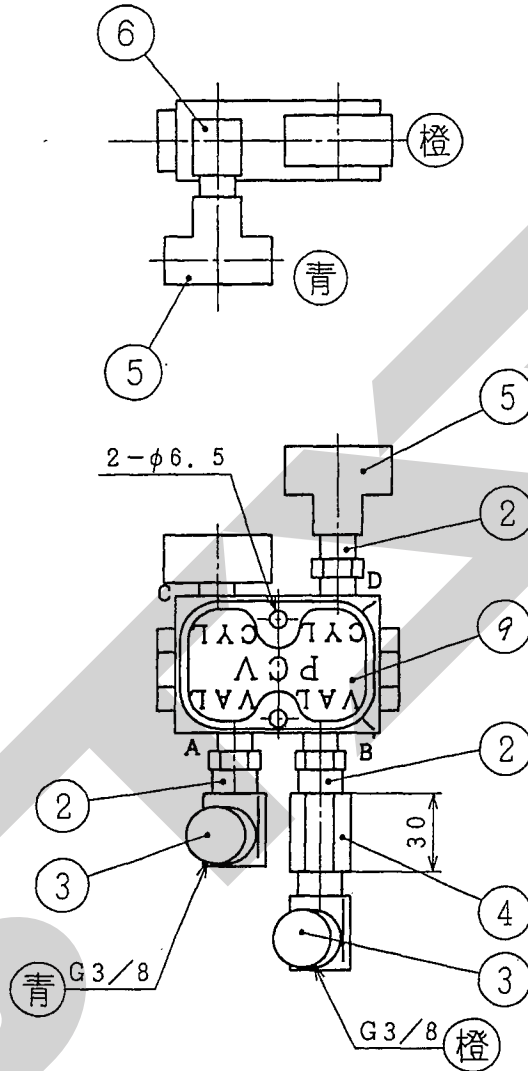
規格: $\phi 45 \times \phi 28 \times 450$ ST $\times 675$ MIN
 刻印: W4 1 L



TAB. 2 シリンダ詳細

図番	部品コードNo.	部 品 名	個数	摘 要
1	D10001259-1	シリンダアッシ	1	No. 2 ~ 14
2	82207-1012-1	ロッド (アッシ)	1	
3	82105-0012-6	ヘッド (アッシ)	1	D05L
4	82205-1215-1	ピストン	1	D05L
5	D10001260-1	チューブ (アッシ)	1	D06L
6	12403-11200	ユーナット	1	M20x2.5
7	14820-71045	オーリング	1	NOK-S45
8	82205-1013-1	シールアッシ	1	No. 9 ~ 14
9	14824-11045	ユーパッキン	2	GPY45
10	14824-02028	スクレーパ	1	SDR28
11	14820-12039	オーリング	1	P39-1種B
12	14824-14028	バックアップリング	1	TC-35.5x28xt1.5
13	14825-11028	ユーパッキン	1	RNY28
14	14827-02028	バックアップリング	1	T2-P39

FIG. 3 パイロットチェック弁詳細



TAB. 3 パイロットチェック弁詳細

図番	部品コードNo.	部 品 名	個数	摘
1	B10001202-1	パイロットチェックベンアッシ	1	No. 2 ~ 9
2	25011-01523	ニップル	3	R3/8xR1/4
3	25012-12533	ホースエルボメス	2	G3/8xR3/8
4	25020-10500	コネクタ	1	R3/8xR3/8
5	25013-02503	ティー	2	3-R3/8
6	25012-01532	エルボ	1	R3/8
7	A10000058-1	カラーリング	2	3/8
8	A10000059-1	カラーリング	2	?
9	D10001031-1	シングルパイロットチェックベン	1	

保守点検一覧表

警告

- 点検を行なうときは、トラクタを平坦な場所に置いてローダバケットを接地（または離脱）させ、エンジンを止め駐車ブレーキをかけてから始めてください。
- ローダバケットを安全に使用し、かつ長持ちさせるために下表に従って日常点検・定期点検を行なってください。
- 点検については、ローダの取扱説明書も併せてご覧ください。

【守らないと】

死亡を含む傷害事故につながるおそれがあります。

点検項目	処置	点検時間
各部のボルト・ナットのゆるみ (目視点検)	目視でゆるんでいたら増締めする。(バネ座金が取付部から浮いている場合) ゆるみが多発する場合は、ボルト・ナット・バネ座金を交換する。 (規定の締付トルクは10ページ参照)	日常点検
各部のピン・回転部のグリス・油の点検	グリスアップ・給油する。また、ピン・割りピンなどの脱落があれば、補給する。	
作動油の油量点検	適正量まで補給する。また、汚れがひどいときは油を交換する。	
ホースの無理な曲げ・ねじれの点検	ホース両端の金具をゆるめ、無理な曲げ・ねじれがない状態にして締め直す。 ホースは2年毎に交換する。	
ホース表面のキズ	キズがある場合、至急交換する。	
その他 破損箇所の有無	破損箇所があれば、修理または交換する。	
ホース・油圧部品からの油もれ	増締めする。またはパッキンを交換する。	
各部ピン・ブッシュの磨耗量	ピン外径の磨耗量が2 mm以上であれば交換する。	50時間 使用毎

トラブルシューティング

万一、ローダバケットの調子がおかしい・具合が悪いなどの場合には、次ページにより点検し、適切な処置をしてください。

また、ローダバケットの不具合原因の中には、トラクタのバルブ・ポンプなど油圧部品の不具合に起因する場合も考えられますので、トラクタも併せて点検・確認してください。

1 点検を行なう前に

警告

- ローダバケットを接地させて駐車ブレーキをかけ、エンジンを止めてください。
- エンジンをかけて点検・修理する必要がある場合、ローダの作業範囲内に入らないでください。
- また、ローダ及びローダバケットの下に入らないでください。

【守らないと】

ローダ及びローダバケットに当たったり、その下敷きになって死傷するおそれがあります。

2 点検中の注意

- (1) ローダバケット・ローダの型式及び機番を確認し、不具合の内容を詳細にメモしてください。
(後で連絡するときに便利です)
- (2) ローダバケット始動時の作動不良・作動不具合は、大半が配管間違いや配線間違いによるものです。今一度、十分確認してください。

3 点検後

- (1) 点検・処置しても①原因がわからない、②正常にならない場合は、本製品をお買い上げの「販売店」またはサービス工場までお問い合わせください。
- (2) 油圧部品、特にバルブ等は精密機械ですので、分解・修理は専門の技術サービスマンにお任せください。

症 状	原 因	処 置
ローダバケットが全く動かない	作動油が不足している (ポンプより異常音がする)	作動油を追加してください。 追加量はローダの「取扱説明書」を参照してください。
	オイルフィルタの目づまり	フィルタを洗浄・または交換してください。
	ポンプ故障 (油を送らない)	修理に出してください。または交換してください。
	メインリリーフバルブ整備不良	内部洗浄後、圧力計にて圧力を再セットしてください。
	セルフシールカップリングが接続されていない	セルフシールカップリングを接続してください。
	セルフシールカップリングの故障 (この場合、レバー操作時、リリーフ音がある)	セルフシールカップリングを接続してください。
油温が上昇しやすい 油温が異常に上昇する	積荷オーバーでリリーフが頻繁に働くため	最大荷重以下で作業してください。

症 状	原 因	処 置
ローダバケットを動かすと「ギー」と音がする	ピン部グリスが切れている	グリスアップしてください。
油圧部分からの油もれ（外部）	パッキンの磨耗、または劣化	修理に出してください。 （パッキン交換）
継手・ネジ部よりの油もれ	ネジがゆるんでいる、またはシールテープを巻いていない	増締めしてください。または継手はずしてシールテープを巻き、継手を締め直してください。
	オーリングの損傷、または劣化	オーリングを交換し（部品注文）、継手を締め直してください。
ぎくしゃくする途中で止まる動きが遅い異音がする	シリンダ内の空気が入っている 作動油が不足している	空気が抜けるまで空荷作動させてください。 作動油を追加してください。追加量はローダの「取扱説明書」を参照してください。
	オイルフィルタの目づまり	フィルタを洗浄・または交換してください。
操作ラベル通りに動かない	シリンダ・バルブ間のセルフシールカップリングまたはホースの接続が間違っている	組付要領・純正部品表通り正しく配管してください。
自然にダンプする	ローダバルブのキープ性能不良	修理に出してください。
	ローダダンプシリンダのキープ性能不良	

症 状	原 因	処 置
セルフシールカップリングが結合できない	回路内に残圧がかかっている	残圧を抜いてください。
バケットがスクイ きれない または途中で止まる	積荷オーバー	最大荷重以下で作業してください。
	ローダダンプシリンダ内のパッキン磨耗	パッキンを交換してください。 またはシリンダを修理に出してください。
	トラクタポンプの故障	修理に出してください。または交換してください。
	オイルフィルタの目づまり	フィルタを洗淨・または交換してください。
	作動油の汚れ・量不足	作動油を交換・または追加してください。 追加量はローダの「取扱説明書」を参照してください。

STAR

STAR

本 社	066-8555	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地44 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地4 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 0153-72-2624 FAX 0153-73-2540
花巻営業所	028-3172	岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割120番3 TEL 0198-46-1311 FAX 0198-45-5999
盛岡事務所	020-0173	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字根堀坂552-3 TEL 019-694-1661 FAX 019-694-1662
仙台営業所	983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字神明179-1 TEL 022-388-8673 FAX 022-388-8735
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	861-0939	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885-1202	宮崎県都城市高城町穂満坊1003-2 TEL 0986-53-2222 FAX 0986-53-2233